

平成27年 第3回定例会 9会計の決算を認定

歳入 72億4992万円

歳出 68億1783万円

会期 8日間 8/27~9/3

8月27日(木) 本会議1日目 一般質問3件(3人)・議会全員協議会

28日(金) 本会議2日目 議案第34号〜39号・条例と補正予算審

議・認定第1号〜9号・平成26年度一般会計及び8特別会計一括上程、監査報告、一般会計細部説明、質疑、決算審査特別委員会へ付託

31日(月) 総務文教常任委員会(陳情の審査)・工事箇所視察

9月2日(水) 決算審査特別委員会(一般会計決算の審査)

3日(木) 本会議3日目 決算審査特別委員会報告(認定第1

号)・8特別会計の審議・総務文教常任委員会報告(陳情第1号)・発議3件の審議等

なお、一般会計決算審査特別委員会の主な質疑は、次のとおりです。

一般会計決算の主な質疑

政策・収支・財政関係

質 町民税の事業主に對する特別徴収率が低い
が、その状況と対策はど
うなっているか。

答 (税務課)

特別徴収率は、67.2
%で、県平均以下であ
る。26年度1356の事
業所に対して特別徴収の
指定をしている。

来年度に向けては、当
該事業所の絞り込み、年
末調整説明会での周知、
さらに細かい案内文の送
付等の取り組みを予定し
ている。

質 町民税の納税者人口
と納税平均額、固定資産
税につながる、新築家屋

件数の動向、町税の収納
率向上の取り組みはど
うなっているか。

答 (税務課)

町民税の納税者は57
73名で前年度比約40名
の減少、一人あたりの税
額は、約10万8千円、新
築家屋数は60棟、取り壊
し等は64棟でした。
収納率は94.53%で、
昨年度より若干増加をし
た。機構改革により収納

係が廃止されたが、県派
遣職員協力により、効
率よく進められた。

質 固定資産税の課税保
留分の実情と対策は、ど
うなっているか。

答 (税務課)

相続人未確定、相続人
不明等の場合、保留とし
ている。件数は4〜5件
で、戸籍の追跡や短期解
決のために、弁護士等と
相談して対応している。

質 時間外勤務手当が1

千万円を超えているが、
機構改革以来、改善され
るのか。

答 (総務課)

26年度を前半と後半で
比較すると、新しい体制
になり事務も変わったと
いつ事で時間外が増えた。
27年度予算では、事務
の効率化・簡素化を図つ
ていくことで時間外手当
の削減をした。昨年より
若干低く推移しており、
時間外の管理を徹底し、
少しでも減らすよう努力

している。

質 町長は、3月議会で
任期中に必ず「自治基本
条例」を制定すると宣言
されたが、進行状況を報
告されたい。

答 (政策推進課)

庁舎内に委員会を立ち
上げてはいるが、まだ委
員会を開催していない。
町長の公約でもあり、時
間的な余裕はないが、ス
ケジュールを見据えて進
めていきたい。

決算審査特別委員会報告書 (抜粋)

歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行い、事務処理は適正なものと判断し、賛成全員で認定すべきものと決定した。

なお、次のことについて、注意し執行されたい。

- (1)歳入は、町税が減少し収納率も低下しており厳しい財政状況となっているため、補助金などあらゆる財源確保に努められたい。
- (2)歳出は、人口増加、定住対策のための施策を積極的に実施されたい。
- (3)決算審査特別委員会で指摘された事項について、改善・研究し、今後の事業を実施されたい。